

- 問1 北海道の内陸部における気温や降水の特徴を説明した内容として、正しいものはどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 暖流である対馬海流の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖であり、雪が降ることは稀である。
 2. 海の影響を受けにくいと、夏と冬の気温差（年較差）が非常に大きく、冬の月平均気温は氷点下になる。
 3. 一年を通じて降水量が多く、特に夏から秋にかけては台風の影響を頻繁に受けるため、年平均気温が高い。
 4. 季節風の影響で冬に降水量（降雪量）が集中するが、海に囲まれているため一年を通じて気温の変化は小さい。
- 問2 日本の諸地域のうち、北海道地方について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、北海道には世界自然遺産に登録された知床があります。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. 道庁所在地は旭川市であり、上川盆地の中心都市である。
 2. 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。
 3. 道庁所在地は釧路市であり、水産業の拠点となっている。
 4. 道庁所在地は函館市であり、本州との交通の要所となっている。
- 問3 2018年の統計において、畑作の農家一戸あたりの耕地面積を比較すると、全国平均が5万平方メートル未満であるのに対し、北海道は約20万から25万平方メートルという圧倒的に高い数値を示しています。このような広大な土地で効率よく耕作を行うために、北海道の農業で一般的に取り入れられている手法として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 土地を細かく区画分けし、多種類の作物を少量ずつ組み合わせて栽培する手法
 2. ビニールハウスなどの施設を大規模に建設し、一年中同じ作物を育てる温室栽培の手法
 3. 大型の機械を導入し、少ない人数でも広範囲の作業を短時間でこなす手法
 4. 豊富な労働力を一箇所に集中させ、手作業によるきめ細かな管理を行う手法
- 問4 北海道の大規模な農地で展開されているスマート農業の具体例として、人工衛星からの位置情報を利用したシステムが導入されています。このシステムを活用した取り組みと、それによって得られる効果の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 人工衛星の情報を遮断することで、位置情報の誤差をなくし伝統的な測量を行う
 2. 田植え機などの自動運転システムを導入し、作業の精度向上と負担軽減を図る
 3. 自動搾乳ロボットを廃止し、すべての人員を家畜の体調管理のみに専念させる
 4. ドローンで肥料を散布する代わりに、多くの人員を動員して手作業の時間を増やす
- 問5 世界自然遺産である知床半島を含む北海道の東部沿岸では、夏季に「海霧」と呼ばれる濃い霧が発生しやすい。この現象の要因となる「季節風」と「海流（親潮）」の関係を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. オホーツク海からの冷たい季節風が、親潮の影響で冷え切った陸地にぶつかり、上昇気流が発生して雲を作るため。
 2. 南からの暖かく湿った季節風が、対馬海流の影響で温度が上昇し、空気中の水蒸気量が飽和状態に達するため。
 3. 太平洋からの暖かく湿った季節風が、寒流である親潮によって冷やされた海面の上を通ることで水蒸気が凝結するため。
 4. 大陸からの冷たく乾いた季節風が、暖流である黒潮によって温められた海面から大量の水蒸気を供給されるため。
- 問6 北海道、茨城県、新潟県、青森県などの農業統計において、農家一戸あたりの平均耕地面積を比較すると、北海道は約30ヘクタールと、他の都府県の数ヘクタール程度に比べて圧倒的に大きな数値を示しています。このような統計上の特徴を持つ北海道の農業の特色として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
1. 大型機械を活用した大規模な農業が行われている
 2. 農家一戸あたりの面積が小さく、多くの労働力を必要とする
 3. 都市近郊での集約的な施設園芸が中心である
 4. 米の二毛作が盛んで、土地の利用効率が極めて高い
- 問7 北海道の観光資源の統計を見ると、自然景観やレクリエーション施設の数が非常に多い一方で、古い歴史的建造物の数は京都府などと比べて少ないという特色があります。このような観光構造が形成された歴史的・地理的背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. 古くから日本の政治・文化の中心地であったが、木造建築よりも石造りの自然公園を重視する独自の文化が育まれた。
 2. 明治時代以降に大規模な開拓が進められたため、古い寺院などの建造物は少ないが、広大な自然環境が観光資源として活用されている。
 3. 戦災によって歴史的な建造物の大部分が消失したため、戦後の復興期にレクリエーション施設を重点的に整備した。
 4. 自然遺産の保護を最優先する法律によって、歴史的な建造物を新しく重要文化財に指定することが制限されている。
- 問8 北海道の道東、太平洋沿岸に位置する釧路市周辺の夏季の気候について、気温が上がりにくい理由を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 北西から吹く乾いた季節風が、大雪山系を越える際にフェーン現象を引き起こし、雲を消し去ってしまうため。
 2. 南東から吹く湿った季節風が、寒流である親潮の影響を受けて冷やされ、霧が発生して日照を遮るため。
 3. 周囲を高い山々に囲まれた盆地特有の地形により、夜間に冷え込んだ空気が日中も地表付近に滞留し続けるため。
 4. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい風が、山地にぶつかることで上昇気流となり、内陸部に大量の降雨をもたらすため。
- 問9 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷について、近年の地域社会における役割や特徴を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 大規模な稲作を行うための水資源として、春先の用水路に直接引き込まれている。
 2. 冬の時期に観光用の砕氷船が運行されるなど、地域の貴重な自然観光資源となっている。
 3. 流氷の移動を妨げないように、沿岸部では一切の漁港建設が禁止されている。
 4. 地熱発電のエネルギー源として利用され、周辺地域の電力をすべてまかなっている。
- 問10 北海道には古くから独自の文化を築いてきた先住民族が居住しており、現在の札幌をはじめとする道内の多くの地名は彼らの言葉に由来しています。この民族を何と呼びますか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
1. 大和民族
 2. アイヌ民族
 3. ウィルタ民族
 4. 琉球民族
- 問11 北海道北端の稚内付近における、夏季の日照時間と周辺の流れの特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この地域では5月から6月にかけて日照時間がピークを迎え、全体として夏季の日照時間が長くなる傾向があります。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 高緯度に位置するため夏季の昼の時間が長く、日本海沿岸を北上する対馬海流が地域の気候に影響を与えている。
 2. 季節風を遮る高い山脈の影響でフェーン現象が発生しやすく、暖流のリマン海流の影響で夏季は乾燥した晴天が続く。
 3. 寒流である千島海流（親潮）の影響で夏季に大規模な濃霧が発生するため、高緯度であっても日照時間は極めて短くなる。
 4. 低緯度に位置するため太陽の高度が常に高く、太平洋沿岸を北上する日本海流（黒潮）が湿った空気を運んでいる。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 海の影響を受けにくい ため、夏と冬の気温差（年較差）が非常に大きく、冬の月平均気温は氷点下になる。	海には温度を一定に保つ働きがありますが、北海道の内陸部は海から遠ざかっているため、その恩恵を十分に受けられません。結果として、夏は暑く冬は厳しい寒さとなり、年平均気温が低い北海道の中でも特に冬の寒冷さが際立つ傾向にあります。台風の影響や多雨な気候は、この地域の主な特徴とは言えません。
問2	答え 2 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。	北海道の行政の中心である道庁は札幌市に置かれています。札幌市は、碁盤の目のように区画された市街地を持つ政令指定都市です。北海道内には、知床という世界自然遺産が存在するほか、青森・秋田両県にまたがる白神山地や鹿児島県の屋久島など、日本の自然遺産が所在する自治体は、その場所や名称が中学地理において重要な学習事項となります。
問3	答え 3 大型の機械を導入し、少ない人数でも広範囲の作業を短時間でこなす手法	北海道は明治時代以降の開拓の歴史的背景から、一戸あたりの耕地面積が他都府県に比べて非常に広いという特徴があります。これほど広大な面積を家族などの少人数で管理するためには、トラクターやコンバインといった大型の機械による作業の効率化が不可欠です。これを大規模・機械化農業と呼び、労働力不足を補いながら高い生産性を実現しています。
問4	答え 2 田植え機などの自動運転システムを導入し、作業の精度向上と負担軽減を図る	スマート農業の具体例として、人工衛星の位置情報を活用した田植え機やトラクターの自動運転が挙げられます。これにより、広大な農地でも正確に作業を進めることができ、長時間にわたる運転業務の負担を大幅に軽減することが可能になります。ドローンの活用や搾乳ロボットを導入も、同様に省力化と効率化を目的としています。
問5	答え 3 太平洋からの暖かく湿った季節風が、寒流である親潮によって冷やされた海面の上を通ることで水蒸気が凝結するため。	北海道の東方沖には、北から流れてくる寒流の親潮（千島海流）が位置しています。夏、太平洋側から吹き込む暖かく湿った季節風が、この冷たい海面によって下から冷やされることで、空気中の水蒸気が細かい水滴（霧）となり、大規模な海霧が発生します。これが日照不足の原因となり、地域の農業に影響を与えることもあります。
問6	答え 1 大型機械を活用した大規模な農業が行われている	北海道の農業統計における最大の特徴は、農家一戸あたりの耕地面積が他の都府県に比べて非常に大きいことです。これは明治時代以降の大規模な開拓の歴史が背景にあり、一区画が大きく設定されたためです。その広大な土地を効率よく管理するために、トラクターなどの大型機械を用いた大規模な農業が主流となっています。
問7	答え 2 明治時代以降に大規模な開拓が進められたため、古い寺院などの建造物は少ないが、広大な自然環境が観光資源として活用されている。	北海道の観光の特色は、歴史の長さよりも「広大さ」と「自然」にあります。本州の多くの地域とは異なり、近代以降の開拓によって社会基盤が作られたため、近世以前の重要文化財は相対的に少なくなります。しかし、その分、大規模な国立公園や大規模な土地利用を前提としたレクリエーション施設が充実しており、自然を目的とした観光客を多く集めています。
問8	答え 2 南東から吹く湿った季節風が、寒流である親潮の影響を受けて冷やされ、霧が発生して日照を遮るため。	釧路市周辺を含む北海道東部の太平洋沿岸では、夏に南東から湿った季節風が吹きます。この風が、千島列島から南下してくる冷たい海流（寒流）である親潮の上を通る際に急激に冷やされ、濃い海霧が発生します。この霧が広範囲を覆って太陽の光を遮るため、夏でも気温が上がりにくいという気候特性が見られます。
問9	答え 2 冬の時期に観光用の砕氷船が運行されるなど、地域の貴重な自然観光資源となっている。	流氷はかつて船舶の航行や漁業を妨げるものとして捉えられる側面もありましたが、現在では網走市や紋別市などで観光用の砕氷船が運行されるなど、冬の北海道を象徴する重要な観光資源として位置づけられています。農用水としての利用や地熱発電とは関係がなく、自然環境との共生を図りながら地域経済に貢献しています。
問10	答え 2 アイヌ民族	アイヌ民族は北海道の先住民族であり、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の精神文化や言語を持っています。北海道にある多くの地名は、彼らが地形や動植物の特徴を表現した言葉が語源となっており、例えば札幌（サッポロ）は「乾いた大きな川」を意味するアイヌ語の『サツ・ポロ・ベツ』に由来しています。
問11	答え 1 高緯度に位置するため夏季の昼の時間が長く、日本海沿岸を北上する対馬海流が地域の気候に影響を与えている。	北半球では高緯度になるほど、夏季における昼の時間が長くなるという天文学的な特徴があります。そのため、北海道北端の地域では、本州以南と比較して夏季の日照時間が長くなりやすい条件にあります。また、北海道の西側の日本海沿岸には、暖流である対馬海流が北上しており、これが周辺の気候に影響を及ぼしています。太平洋側で夏に濃霧を発生させ、日照時間を減少させる要因となるのは寒流の千島海流（親潮）であり、日本海側の特徴とは異なります。